

資源研究部の研究概要

1. 資源状況の評価

本県沿岸を含む東シナ海の対馬暖流系のアジ、サバ類、イワシ類、マダイ、ヒラメ等の水産資源を各県水試等と共同で調査し、資源管理のための評価を行っています。

- 資源評価対象魚種の精密測定調査
- ガザミ、タチウオ、ヒラメ等漁獲状況調査
- 沖合海洋観測調査、卵稚仔調査

また、評価結果は国立研究開発法人 水産研究・教育機構のHPで公表されています。

(https://www.fra.go.jp/shigen/fisheries_resources/index.html)



魚市場での調査

2. 資源動向の把握

本県沿岸において、マダイ、ヒラメ、カタクチイワシ、タチウオ等の有用魚種の卵及び稚仔魚の出現動向及び海況を把握するため、海洋調査を実施しています。

- 有明海、八代海、天草西海での定点調査
- 漁業者等への調査結果の提供



卵稚仔調査

3. 内水面魚種の資源動向把握

内水面における重要魚種の資源動向を把握するため、仔アユの流下及び稚アユの遡上状況等のほか、海洋生活期（河口域）における稚アユの現存量等の調査を実施しています。

また、ウナギにおいても漁獲状況を調査しています。

- 球磨川における流下仔アユ及び遡上稚アユ調査
- 海洋生活期（河口域）における稚アユの現存量調査
- 球磨川河口以北の八代海におけるウナギ漁獲状況調査



河口域における稚アユ調査
(ライトトラップ調査)

4. ガザミ・クルマエビの種苗放流技術の開発

有明海の特産魚介類であるガザミ等の放流効果を高めるため、種苗放流技術等の開発に取り組んでいます。

＜ガザミ＞

- 放流場所及び放流サイズ別の放流効果について、漁獲されたガザミのうち、種苗生産に用いた親ガニ由来のDNAを保持する個体を検索することで把握

- 黒デコ（孵化直前の黒色化した卵を抱く雌ガザミ）の再放流による資源添加効果について、上記同様に再放流した黒デコ由来の DNA を保持する個体を検索することにより把握
- 標本船調査による推定漁獲量の把握

<クルマエビ>

- 小型種苗（体長 14mm）の放流効果について、漁獲物中の種苗生産に用いた親エビ由来の DNA を保持する個体を検索することにより把握
- 囲い網による初期減耗軽減効果の把握

5. 資源管理・漁業収入安定対策の推進

種苗放流と資源管理型漁業を組み合わせた資源造成型栽培漁業や資源管理・漁業収入安定対策を推進するため、県資源管理指針及び魚種別資源管理計画の見直し提言を行うための基礎データを収集しています。

- 漁業実績報告や聞き取り調査によるカタクチイワシ（シラス）の漁獲実態の把握
- 調査結果に基づく資源管理手法の検討